

部 会 報 告

関西テレビの取材を受けました。

標準部会

関西テレビのバラエティ番組「有吉弘行のダレトク」で「工事現場ダレトク」と題して「ウサギとカメ」の図記号の取材を受け、協会標準部会副幹事兼 ISO/TC 127 土工機械委員会 SC 3 分科会委員 砂村 和弘氏（日立建機）が対応したので、報告する。

取材内容：大林組さんの現場で、肩もみ運動などを取材していたりポーターが建設機械の運転席のウサギとカメなどの図記号に着目、レポーターの平子（アルコ&ピース）とテレビ局の取材スタッフが当協会を訪問、建設機械の高速段と低速段を切り替える走行モードスイッチに「ウサギとカメ」のマークを使用するその由来を質問した。砂村氏が、当該マークはかなり以前から使用されていて、国内でも 1980 年代にはすでに使用され、その後 ISO 国際規格に制定されることとなり、JIS でも制定されている旨を説明。その他に「カタツムリ」マーク（微速）、「ゾウさん」マーク（力が大きい）など当該資料を撮影し、番組では、建設現場には



写真—1 砂村和弘氏

動物さんがいっぱいいると紹介された。

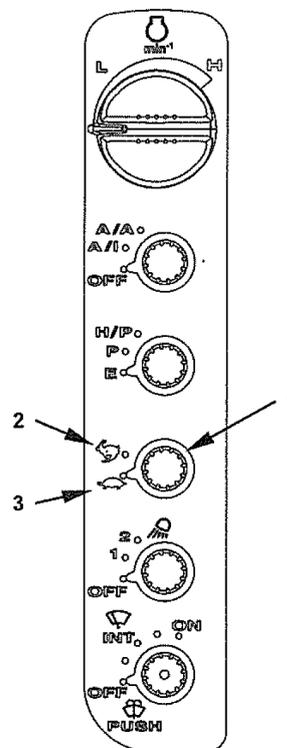
この番組は 5 月 13 日深夜にフジテレビ系列で放映された。

1. 走行モードスイッチ

スイッチパネル上の走行モードスイッチ 1 を各位置に回すことにより、高速・低速の切替えができます。

- ・高速にしたい場合は、走行モードスイッチ 1 を  マーク 2 の位置に回します。
- ・低速にしたい場合は、走行モードスイッチ 1 を  マーク 3 の位置に回します。

- 2 -  マーク（高速）
- 3 -  マーク（低速）



走行モードスイッチ